

# 終了事業 タイ 理数系(STEM\*)教育を通じたリーダーシップ育成事業(第2期)

— 企業と連携して、子どもたちの学業および職業機会を拓げる —



活動地域: アユタヤ県、ラヨーン県およびサムットプラカーン県  
 事業期間: 第1期2017年4月~2020年3月(3年間)、第2期2020年4月~2023年6月(3年3か月間)  
 事業規模: 当年度支出額13,823千円(総事業規模: 30,000千円)  
 主な支援者: 日産自動車株式会社、タイ日産自動車会社

\*「STEM(ステム)」とは、Science(科学)、Technology(技術)、Engineering(工学)、Mathematics(数学)の頭文字をとった言葉。

16校  
 支援の対象となる学校数

376人  
 新規起業体験活動グループのメンバー数  
 (15校/うち女子202人、男子174人)

35人  
 メディア活用研修に参加した教師の数  
 (うち女性22人、男性8人)



**課題** タイ政府は、今後の経済社会の発展に向け産業人材の育成を課題としています。特に、高校進学において職業教育課程に進む生徒数の増加を促進するとともに、中学・高校における職業活動を積極的に推進しています。一方、多くの学校では、十分な予算がなく、職業活動に関する知識や技術を有する教師も不足していることから、これらの実現が困難な状況です。とりわけ、カンボジア等からの移民の子どもたちの学習環境は厳しく、中学・高校を卒業した後の職業選択も極めて限定され、貧困に陥りやすいことが指摘されています。中学・高校在学中に、社会人として必要なリーダーシップやマーケティングスキル、ライフスキルなどを身につける機会が求められています。

**活動内容** 本事業の最終年度となった本年は、生徒が継続して起業体験活動に取り組めるよう教師による持続的なサポート体制の構築に努めると同時に、オンラインでの商品販売促進に役立つよう、教員向けの「メディア活用マニュアル」を完成させました。また、卒業後社会で生きていくための職能と社会人として必要なリーダーシップやライフスキルを身につけるための研修のオンライン化の手順を整備し、コロナ禍において事業の最適化を進めました。さらに、外部関係者との連携を進め、タイ日産と連携しSTEMキャンプでエコスクール活動を通じた環境教育を実施したり、工場を視察し環境負荷削減の実践的取り組みを学ぶ機会を提供したりしました。起業体験活動においても同様に、地域の起業家や職人の協力を得て、技術指導や資機材支援を行いました。一方で、1年次~2年次後半にかけて度重なる学校閉鎖により、職業グループの形成が3年次にずれ込んだことから、起業体験活動の一環として計画した成果発表会やマーケットフェア、生徒の相互訪問等が最終年次に集中した結果、活動の集約化を余儀なくされ、生徒の起業体験の時間は当初の計画より大幅に縮小されました。

受益者の声



カンピチャさん

3年にわたる活動の集大成として、3県14校から代表生徒 69名と教師27名が集い、ラヨーン県のペラクサマタ・ウィタヤ校で「マーケットフェア」を開催。これまでの支援を通じて、生徒たちが、学び、体験し、実践してきたことを披露する機会となりました。開催会場となった学校の生徒や教師ほか、地域の協力者や関係者など約1千人が参加し、盛大に行われました。そのフェアで、作製したガラス加工の作品を披露するのは、アユタヤ・ヌソーン校のカンピチャさん。本事業の支援者であるタイ日産に深く感謝するとともに、「卒業後は学校に戻り、仲間を指導し、必要なライフスキル、生きる力を育むお手伝いをしたいと思います」といいます。本事業は終了しましたが、カンピチャさんのような卒業生や生徒たちの最も身近にいる保護者や教師、そして地域の協力者の皆さまからのサポートや見守りを得ながら、生徒たちが自主的な活動を継続していくことが期待されています。